

# 学びの 広場

## 私の地域活動



◀40年前の再開した当時の写真

私の住んでいる地域には伝統的行事として本館地元盆踊りがあります。一時中断した時期もありましたが、再び踊るようになってから四十年になりました。

年一回、八月十四日に盆踊り大会は開催されます。八月に入ると親子会、保存会の方々の協力を得て、小学四年から中学生までの子ども達がお囃子や太鼓の練習をします。年々踊り子さんが減少し危惧されましたが、昨年は、地元の踊り好きな有志の方々に練習会を開いていただいたり、六郷公民館において地域以外の方々が練習に励んでくれたりしたおかげで参加者が増え、大会が盛り上がりました。これを機に地元住民のみならず、多くの方々が足を運んでくれるよう趣向を凝らした大会になっていけたらと思っています。

また、私自身もこのような地域活動を通して自分を磨き、生涯学習奨励員として相談された折には良きアドバイスができるよう心がけたいと思います。

生涯学習や地域の伝統行事は人とふれあう楽しさや心の豊かさを培う絶好の場ではないでしょうか。時間にゆとりのある方は講座やサークルにとどまらず、あきた県民カレッジで学んでみることをお勧めします。詳しい資料は、公民館や奨励員にご相談ください。いつでも提供いたします。

(生涯学習奨励員 中野 均)



飯詰竪穴群は、JＲ後三年駅から東に約一・五kmの所にある東山本地区の分離丘陵地に位置しています。遺跡のすぐそばには、後三年合戦の時、源義家が雁行の乱れによって敵の伏兵を発見して討ち取ったと伝えられる西沼があり、歴史口マンあふれる言い伝えが残る場所です。

この遺跡は大正十二年、豪農江畑新之助氏によって進められた山本公園の造成工事中に、深澤多市氏らによって偶然発見されました。大正十二年と昭和三十六年、三十七年に調査を行った結果、竪穴状をした遺構が見つかったほか、縄文時代中期前半から中頃にかけての土器や石さじ、石おのなどが出土しています。

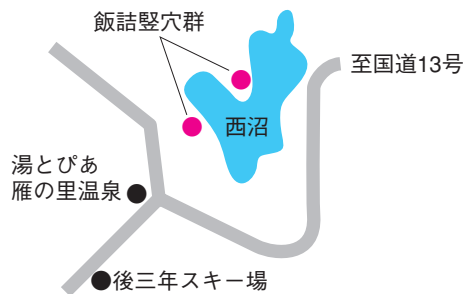
このことから、今から約四千五百年前の縄文時代中期前半には、人が住み始めていたものと考えられています。

遺跡周辺に広がる湿地帯や沼地に面した丘陵地とその周辺を利用してムラを作って住んでいたのではないかと推定されます。また、この遺跡南側の東西法寺遺跡では、平安時代の土器である土師器・須恵器が見つかることから、長期間にわたってこの地域が利用されてきていたことがうかがえます。

昭和三十四年には、秋田県史跡指定となつています。現在は一面の松林に覆われており、樹間には凹地が点々と残っているのが確認できます。

# 文化財 探訪

No.3 飯詰竪穴群



## 短歌

ダブダブのシャツ着せ背負うぬくもりは重くて堅く子も老夫婦

六郷 藤本 昇

五月雨に濡れて働く田植機の実るこまちに望をかけて

六郷 鈴木 久子

おぼつなの綱に縋りし村人は何を願ひし手垢染みいで

浪花 田沢 正義

片栗の花の群生登るふとうぐいす美声脳裏しみ入る

金沢 伊藤 敏子

みちのくも漸く花見の季となりて道行く人と会話華やぐ

金沢 斎藤 静子

子供の日泳ぎはためく鯉のぼり朝風はらみ逞しさと増す

金沢西根 小野寺龍治

我が母は頼りにしてた兄亡くし悲しみこらえ今朝も畑へ

六郷 籠谷 ミチ

趣味高じグラウンドゴルフに挑む日々萌ゆる桜に未練残しつつ

畑屋 本間 精一

教え子の形見となりしポーチカラおぼろに浮かぶ朝靄のなかに

六郷 岩田 貞

## 俳句

花の宴下戸の持たさる幹事かな

金沢西根 加藤 省市

新緑の小枝をゆらす雀かな

金沢西根 加藤 省市

人恋し過疎の里にも明日がある

浪花 田口 貞子

明日の夢朝に忘れる花ことば

安城寺 鈴木 和子

日焼けして祖先の大地守つてる

本堂城回 杉山 信一

菊根分け苗札並ぶ狭庭に

六郷 鈴木 ちよ

情春の鋏の刃先に花吹ぶき

六郷 煙山 善吉

琅玕の松を映せる雪解沼

六郷 高橋 善吉

新緑の香り満喫遊歩道

千屋 戸澤 陽子

## 川柳

蓬摘む遠き祖母との手籠かな

畑屋 高橋 周平

朗朗と啼く山鳩や若葉月

六郷 熊谷 順子

大地踏み長い道のり鋏を持つ

六郷 奈良 松雪

子供会少子化の波にさらわれる

六郷 奈良 松雪

愛犬とビール片手に夕涼み

中野 深澤 栄子



▲「八重桜」  
六郷 坂本 和子



高橋 那臣ちゃん

(美郷町千屋 / 忍さん・麻依子さん)

那臣だよ☆大きくなったら  
社長になって、プロ野球団  
を買いたいなっ☆

## 募集

### あなたの作品やお便りを募集します

あなたの作品やお便りなどを「広報美郷」の紙面で発表してみませんか。

【応募方法】次の①、②を記入のうえ、ご応募ください。

①作品(短歌、俳句、川柳、イラスト、お便りなど)

※作品は1人1点とします。

②応募される方のお名前、ご住所、電話番号

【締め切り】6月15日(木)

【その他】・応募者が多数の場合は、掲載できない場合があります。

・作品の内容が広報掲載上好ましくないと町で判断した場合は掲載しません。

### 「美郷の赤ちゃん」を募集します

● あなたのかわいい赤ちゃんを「広報美郷」の紙面で紹介し、思い  
● 出の1つとしませんか。

● なお、平成18年7月号では、平成18年5月に生まれた赤ちゃん  
● の写真を募集します。

● 【応募方法】次の①、②をそろえてご応募ください。

● ①赤ちゃんが写っている写真(1枚)

● ※裏面にご両親と赤ちゃんのお名前、赤ちゃんの生年月日、  
● ご住所、電話番号を記入すること。

● ※ご応募いただいた写真は、原則として返却しません。

● ②ご両親(ご家族)からのメッセージ(30字以内) ※様式は自由

● 【締め切り】6月15日(木)

【応募先】次のいずれかの場所にご応募ください。

● 役場(六郷庁舎)町長公室 ● 役場各庁舎の総合サービス課 ● 美郷町のメール(info@town.misato.akita.jp)